

クラウドUTM利用契約書（案）

1 品目及び数量 クラウドUTMライセンス2本

2 契約金額 ￥ - (うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ￥ -)

3 利用期間 自 令和8年3月1日
至 令和9年2月28日

4 納入場所 大分県教育庁教育DX推進課

5 契約保証金 免除（大分県契約事務規則第5条第3項第3号）

発注者 大分県知事 佐藤 樹一郎（以下「甲」という。）と受注者（以下「乙」という。）とは、クラウドUTMの利用ライセンスに関して、次のとおり契約を締結する。

（総則）

第1条 乙は、別紙「クラウドUTM仕様書」に基づき、ライセンスを納入しなければならない。

（納入の通知）

第2条 乙は、ライセンスを納入しようとするときは、その旨を甲に通知しなければならない。

（検査）

第3条 甲は、ライセンスの納入を受けたときは、その日から起算して10日以内に検査を行わなければならない。

2 甲は、検査の結果、ライセンス内容が「クラウドUTM仕様書」で示した内容に相違しているなど不適切な箇所等があった場合は、乙はライセンスの修正または再発行を販売元に依頼しなければならない。この場合において、前項の時期は、ライセンスの再納入日から起算して10日以内とする。

（契約金の支払い時期）

第4条 甲は、前条の検査を完了したのち、乙から適法な支払請求書を受理したときは、その日から起算して30日以内に契約金を支払わなければならない。

（納入遅延に対する遅延利息）

第5条 乙の責めに帰する理由により、納入期限までにライセンスを納入しない場合は、乙は、甲に対して遅延利息を支払うものとする。

2 前項の遅延利息の額は、納入期限の翌日から納入するまでの日数に応じ、契約金に対し、年2.5パーセントの割合を乗じて計算した額とする。

(契約の解除)

第6条 甲は、次の各号のいずれかに該当するときは、この契約を解除することができる。

この場合において、解除により乙に損害があっても、甲は賠償の責めを負わない。

- (1) 納入期限までにライセンスの納入を完了する見込みがないとき。
- (2) 天災地変その他、乙の責めに帰すべき理由によらないで納入期限までにライセンスの納入ができないと認めたとき。
- (3) 乙に誠意がなく、完全に契約の履行を終わる見込みがないと認めたとき。
- (4) 契約の履行に関し、不正の行為があると認めたとき。
- (5) 乙が暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員をいう。）又は暴力団（同条第2号に規定する暴力団をいう。）若しくは暴力団員と密接な関係を有する者と認められたとき。

(違約金)

第7条 甲は、乙の責めに帰すべき理由により契約を解除したときは、違約金を徴収する。

2 前項の違約金の額は、契約金額の100分の10に相当する金額とし、この違約金の徴収は、甲の損害賠償の請求を妨げない。

(補則)

第8条 前各条に定めるもののほか、この契約の履行について必要な事項は、大分県契約事務規則（昭和39年大分県規則第22号）に定めるところによる。

(協議)

第9条 この契約について疑義のあるとき、又はこの契約に定めのない事項については、その都度甲乙協議して解決するものとする。

この契約の成立を証するため、本書2通を作成し、甲乙記名押印のうえ、各自それぞれ1通を所持する。

令和8年 月 日

甲 大分県大分市大手町3丁目1番1号

大分県

大分県知事 佐藤 樹一郎 印

乙

住 所

商号又は名称

代表者氏名